

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会	主 査 名：松田 雄二 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：山田 哲弥
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する建築利用者(ユーザー)のニーズを汲み取り、それを建築デザインへ反映させる手法の構築に向けた研究活動の実施 ・今年度課題：4年間の活動のまとめとしての刊行物の発行、及びそれに関連したシンポジウム等の開催。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：松田雄二(東京大学)、幹事：田中賢(日本大学)、石橋達勇(北海学園大学) 委員：石垣文(広島大学)、鈴木義弘(大分大学)、富永哲雄(和歌山大学)、西野 亜希子(東京大学)、原利明(鹿島建設)、藤井容子(香川大学)、山崎晋(小山工業高等専門学校)室崎千重(奈良女子大学)、加藤悠介(金城学院大学)計12名	
設置 WG (WG名：目的)	建築計画と合理的配慮 WG：2012 年度からの活動をまとめた刊行企画の中で、「見過ごされてきたユーザー」とそのニーズが明らかになった。また 2013 年 6 月には障害者差別解消法が定められ、「社会的障壁をとりのぞくための合理的な配慮」が求められている。その両者の関係と、建築計画的指針の必要性について、議論することを目的とする	
2015 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/j-000/j300-12/j370-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	「利用者本位の建築デザイン 事例でわかる住宅・地域施設・病院・学校」 2 月 10 日 発刊
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	公開研究会『「利用者本位の建築デザイン」とはなにかー不可視化された利用者を理解するー」 参加者 45 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. UOD 小委員会第一期、2012 年度～2015 年度の活動をまとめた刊行企画「利用者本位の建築デザイン」の刊行を行うことができた。 2. 書籍を刊行するまでのプロセスにて得られた知見や議論に基づき、公開研究会を実施。 3. 今後の小委員会の活動の方向性を検討すべく、特に障害者差別解消法に関しての WG を設置
委員会活動の問題点・課題	書籍の編集に時間を要し、2015 年度刊行予定だった書籍の刊行が 2016 年度の刊行となった。